

10

令和3年

れいろう

〈れいろうカレッジ〉

今月のテーマ

次世代に笑顔をつなごう!

〈テーマトーク〉

【渋沢栄一に学ぶ・後編】未来へつながる志





「メシが食える大人に育てる、でおなじみ「花まる学習会」の講師たちが、親と子のおうち時間を幸せで豊かにするヒントをお届けします。

読書の秋に

——子どもの本で取り戻す「神話的時間」

はっとさせられる 子どもの言葉

子どもたちの何げないつぶやきの数々を収めた、『あのね 子どものつぶやき』（朝日新聞出版編）という本があります。続刊の『ママ、あのね。子どものつぶやき』と共に、子どもたちの思わず、くすくすと笑ってしまうような言葉、子どもならではの世界の見方を表す言葉に溢れています。

●「三捨つてのときは必ず、「三」い

ってらっしゃーい 気をつけてね」

●セミが一匹死んでいた。ほかのセミが周りで鳴いている。「このセミが死んで 悲しいから泣いてるんやね」

●青空に唇の月を見つけて、「お月さん 帰るの わすれちゃったんだね」

人間だけでなく、ゴミまで……！

子どもたちの目は、生命を持つ持たないに関係なく、あらゆるものとの間につながりを見いだせることを示しています。



花まる学習会 スクールFC
ひらぬま じゅん
平沼 純

花まるグループの受験部門、スクールFCで国語や公立一貫コース授業、総合的な学習の時間である「合科授業」などを担当。多数の受験生を合格へ導くとともに、豊かな物語世界の楽しさ、奥深さを味わえる授業を展開し続けている。読書にまつわる講演会も多数開催。著書に『子どもを本好きにする10の秘訣』（実務教育出版）など。

子どもだからこそ 持つことができる感覚

日本を代表する哲学者・鶴見俊輔氏は、子どもは大人と違って「神話的時間」を生きっていると表現しました。

論理や言葉に支配された「近代的时间」を生きている大人と違って、子どもはよりゆるやかで感覚的な時間を生きています。

家で子どもと過ごす時間が増えると、その独特な時間感覚にもどかしさを感じてしまうこともあり、ますね（実際、多くのアンケートで、お母さんたちが家で子どもたちにかける言葉の一位は、「早くしなさい」だそうです）。
しかし、時が経つのも忘れて何かに没頭したり、大人目線では「取るに足りない」と思われるものでも極めて大切にしたり、現実を「ファンタジー」に見立てたり……。それらは、子どもだからこそ持つことができる豊かな感覚の表れでもあります。

豊かな時間感覚を 味わえる本

優れた子どもの本は、このような子どもならではの世界の見方、神話的時間の感覚を見事に表しています。そして子どもとこのような本に触れることは、大人もかつて持っていたであろう、それらの

感覚を取り戻すことにもつながるのです。

左記に、子どもの神話的時間感覚を魅力的に表現した三冊の本を紹介します。

読書の秋に、言葉や論理の縛りから解放された豊かな時間感覚を味わってみてください。

■『もりのなか』

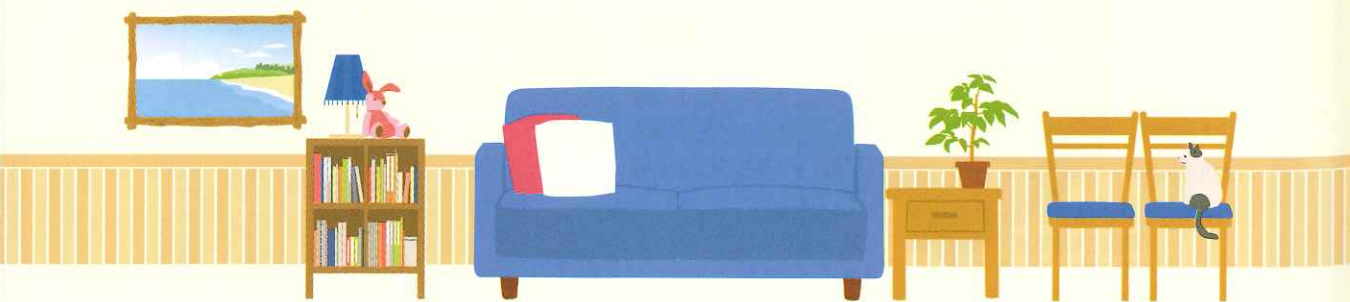
（マリー・ホール・エッツ ぶん・え／まさきりこ やく 福音館書店）
主人公の男の子が森の中で出会う不思議な動物たちは、想像の世界の友だち。男の子が神話的時間を生きているからこそ見える存在です。最後の場面に出てくる、子どもの世界をないがしろにしないお父さんも魅力的。

■『かいじゅうたちのいるところ』

（モーリス・センダック さく／じんぐうてるお やく 富山房）
満月の下でくり広げられる美しい「かいじゅうおどり」の場面では、ひとつも言葉が書かれていません。まさに、言葉をかたがた、全身の感覚を使って全力で遊ぶ子どもの時間感覚を表しています。

■『くろいの』

（田中清代 さく 偕成社）
一人ぼっちの帰り道で女の子が見つけた「くろいの」。その正体とは？ なぜこの女の子だけに見える？ 不思議な安らぎと懐かしさを感じさせる、出版以降数々の賞に輝いた話題の1冊。





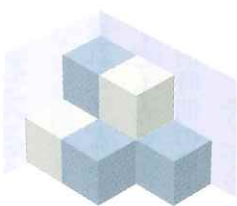
問題提供=柳澤隼人(花まる学習会・スクールFC)

み はこ
「見えない箱」



部屋^{へや}のすみっこに箱^{はこ}が置いてあるよ。
まったく見えていない箱^{はこ}はいくつあるかな?

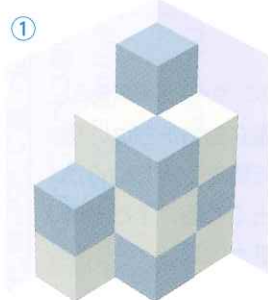
(例)



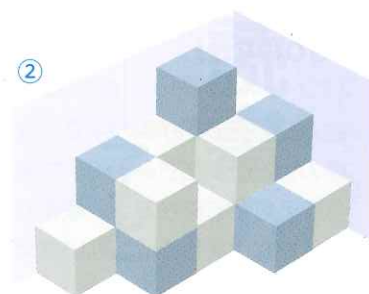
答え: 2つ

レベル 15

①

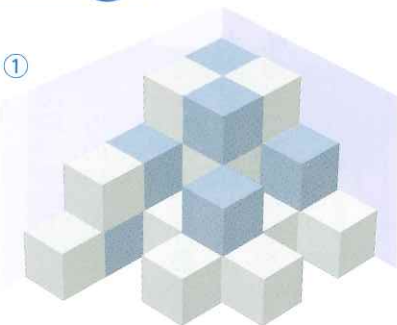


②

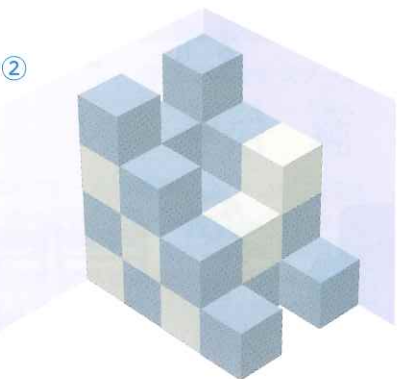


レベル 45

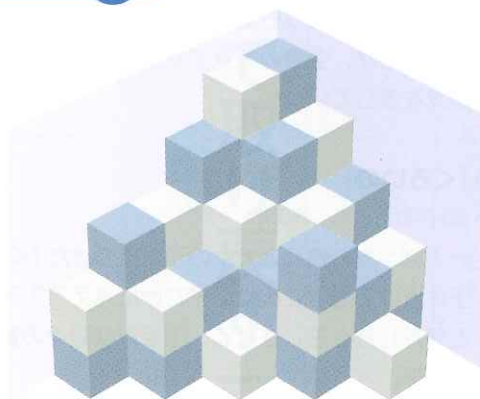
①



②



レベル 99



今月号の解答は、次号に掲載します。

9月号の解答

レベル1 ①

レベル50 ③

レベル100 ①